

文部科学省

「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業
（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」

最終報告会

2024年 2月13日（火） 13:00～14:40

大キャリア事務局（TOPPAN株式会社）

01_札幌国際大学短期大学部

【幼児教育の楽しさを感じる直接体験を生み出すキャリア形成支援】

テーマ①： 中高生を対象とした職の魅力発信

取組A： 保育体験等の実施、幼児教育の重要性に関する講演

取組B： オープンキャンパスなどを活用した中高生向け模擬授業や個別相談

取組C： 養成校生との交流の機会の設定

テーマ②： 養成校生を対象としたキャリア形成支援

取組D： OB/OGなどとの交流会

テーマ③： 現職教諭・離職者等を対象としたキャリア形成支援

取組I： 若手教諭に向けたホームカミングデーの実施

取組K： 円滑に現場復帰できるための実践的な研修の実施

取組L

取組A～Kのほか、幼児教育の「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出す観点から、特に効果が見込まれる先導的取組

1

オープンキャンパスにおける在學生と高校生の交流、
模擬授業、本学認定こども園見学

実施済み

2

「キャリア基礎演習」における卒業生との交流

実施済み

3

SNSで発信☆突撃インタビュー

実施済み

4

幼児教育直接体験プログラム&わくわくトーク

実施済み

5

中学生向け保育体験

実施済み

3 SNSで発信☆突撃インタビュー

L

- 実施日時/期間：2023年8月～2024年1月
- 取組の概要：学生が保育者にインタビュー、動画撮影
- （参加者：）学生18名 保育者30名
- 動画本数 83本

▷ポイント/成果（2024年1月末現在）

ポイント 学生視点から聞く保育職の魅力をSNSで発信

- TikTok: 再生回数1007回 未公開分が多くあるので、再生回数の大幅な伸びが期待できる。
- Youtube: 324回（プレ公開）
- Instagram: 幼稚園、こども園からの閲覧、フォローが増加

▷課題

- インタビューの際の質問の見本を学生に示したことで、内容が似たようなものになってしまったので、後半は学生に任せたり、園の特色にあった質問を取り入れた
- 撮影の交渉・承諾→撮影→編集→園の動画チェック→動画公開の多くの工程を学生、教員で行ったので時間がかかってしまった



幼児教育直接体験プログラム&わくわくトーク

① - A,C

③ - I,K

② - D

- 実施日時/期間：2023年10月14日、15日
- 取組の概要：14日ワークショップ、つるの剛士氏トークショー、15日保育体験（こどもとわくわくさんとの工作）
- （参加者：）14日 現職教員20名 一般参加者100名
15日 中高生34名 現職教員10名 養成校生34名



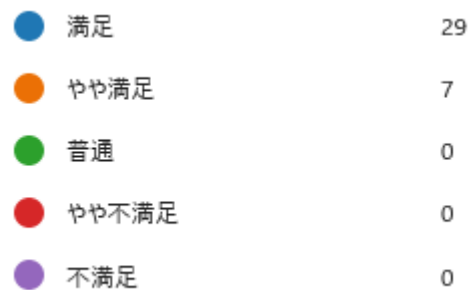
▷ポイント/成果

つるの剛士氏トークショーについて

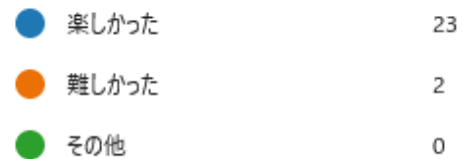
● 満足	32
● やや満足	5
● 普通	0
● やや不満	0
● 不満	0



わくわくさんとこどもとの工作プログラムの評価



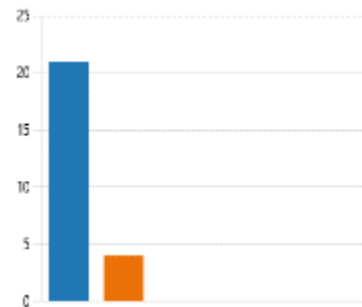
こどもとの関わりの評価





中高生 参加前より保育に興味・関心が高まったか

● 興味が増した	21
● やや興味が増した	4
● やや興味が減った	0
● 興味が減った	0
● 以前と変わらず興味がある	0
● 以前と変わらず興味がない	0



今後もこのようなプログラムに参加したいか

● 参加したい	35
● 参加したくない	0
● わからない	2



▷ 課題

- ◆ 参加者アンケートにもあったが「つるの剛士氏トークショー」はもっと多くの人に聞いて欲しかったので、周知に工夫が必要である。
- ◆ 現職者に対してのワークショップなどは、保育者のニーズを調査するなどにも必要である

中学生向け保育体験

- ・ 実施日時/期間：2024年1月27日
- ・ 取組の概要：中高生がこどもと関わる、給食体験
- ・ （参加者：）中学生13名、高校生31名、合計44名

ポイント/成果

- ・ **ポイント** 中高生が保育体験を通して保育に対しての興味・関心を高める
- ・ **成果**

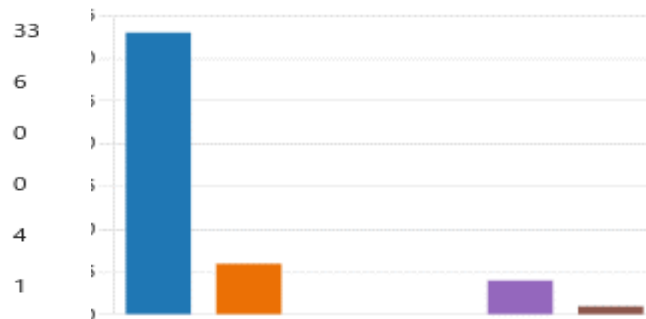
保育職体験（手遊びや子どもとのかかわり）はどうでしたか

- 満足 86%
- やや満足 9%
- 普通 5%



今回のイベントに参加して保育への興味・関心に変化はありましたか

- 興味が増した
- やや興味が増した
- やや興味なくなった
- 興味なくなった
- 以前変わらず興味がある
- 以前変わらず興味がない



興味が増した理由は？

- 実際に子どもと関われたから 29
- 保育学生と関われたから 23
- こども園の施設に興味を持ったから 13
- こども園の先生と関われたから 23
- その他 2



今後どのようなイベントを希望しますか

・29名の回答があり、ほとんどが今回のような保育体験を希望した。
また、1日保育者体験してみたいという回答もあった。

▷良かった点

- ◆ 中高生がこどもとの関わりのきっかけとして手遊びを学生から習い、それを実際にこどもの前で披露できたこと
- ◆ こども園の先生への質問コーナーを設けて保育者との関りも持てたこと

▷課題

- ◆ 今回は、直前に大雪が降り交通障害のために来られない参加者もいた。また、感染症が流行っており、土曜日出席の園児が少なかったことから今後は季節や長期休みの平日に開催するなどの工夫が必要である
- ◆ 今回のイベントでは、こどもと関わる時間が1時間くらいと短かったので、今後は中高生の長期休みの平日にイベントを開催するなどの工夫が必要である

▷まとめ

- ◆ 保育体験の満足度が高く、保育への興味・関心が高まる
- ◆ 参加者が今後も保育体験を希望していることから継続的に開催することで保育者志望者の増加が見込まれる

1. オープンキャンパスにおける在學生と高校生の 交流、模擬授業、本学認定こども園見学の振り返り

①成果が出て今後も継続したいこと

- ◆ 在學生と高校生とのかかわり・・・双方に良い影響があるため
- ◆ 付属認定こども園の見学・・・実際に施設を見学することで保育に思いを馳せることができる

②取組の課題・反省

- ◆ 模擬授業について・・・高校生が望む模擬授業のリサーチが必要
- ◆ オープンキャンパスのプログラムがマンネリ化している
- ◆ 告知の工夫・・・たとえば、高校へのチラシの配布など

③次年度以降に向けて工夫したいこと

- ◆ 土曜のオープンキャンパスでは、付属認定こども園での保育体験を取り入れる
- ◆ プログラムの見直し

2. 「キャリア基礎演習」における卒業生との交流の振り返り

①成果が出て今後も継続したいこと

- ◆ 先輩保育者の話を聞くことで、保育者を目指す動機づけの強化

②取組の課題・反省

- ◆ 授業が始まってから採択が決まったので、キャリア基礎演習の中での取り組みとしては先輩保育者からの講話のみとなった。

③次年度以降に向けて工夫したいこと

- ◆ 実習以外での行事の手伝いボランティアや長期休みのボランティアなどを授業に位置付けることで養成校生と園との関りを増やす工夫をする

3. SNSで発信☆突撃インタビューの振り返り

①成果が出て今後も継続したいこと

- ◆ TikTok、Instagramなどでインタビュー動画をあげることで閲覧数やフォロワーが増加したので、今後も継続したい

②取組の課題・反省

- ◆ インタビュー動画作成の工程が多いので、動画をあげるまでに時間がかかる
- ◆ 学生への謝礼や交通費の確保

③次年度以降に向けて工夫したいこと

- ◆ 学生視点での質問ということであったが、保育者からも伝えたいことなども取り入れていくことで、内容をさらに充実させる工夫をする

4. 幼児教育直接体験プログラム&わくわくトークの振り返り

①成果が出て今後継続したいこと

- ◆ 幼児教育直接体験・・・中高生の保育への興味・関心が高まった
- ◆ 影響力のある人の講演やプログラム（わくわくさんとの工作など）・・・保育に興味がない人も取り込み、保育に触れる機会となることができる。現職者がワークショップでスキルアップできる
- ◆ わくわくトーク・・・養成校の学生と中高生が話すことが双方に良い影響を与えた

②取組の課題・反省

- ◆ 集客力を高めるために、日程の調整を綿密にする必要がある

③次年度以降に向けて工夫したいこと

- ◆ 周知の方法などの工夫が必要

5. 中学生向け保育体験の振り返り

①成果が出て今後も継続したいこと

- ◆ 中高生の保育体験
- ◆ 養成校の学生から保育について学ぶことを含めた交流
- ◆ 給食体験・・・食育の観点からも成果があった

②取組の課題・反省

- ◆ 土曜日に開催すると参加できるこどもが少ない
- ◆ 冬に開催すると北海道では雪害の影響を受けやすい

③次年度以降に向けて工夫したいこと

- ◆ 開催時期を夏休みや春休みなどの長期休みの平日にするなどの工夫が必要
- ◆ 多くの中高生が集中すると保育現場に負担をかけるので、分散するような工夫が必要